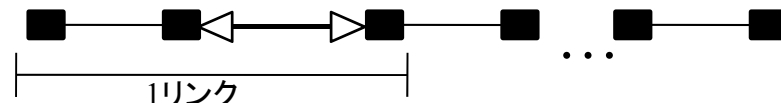


- (1)本課題は、U/UTPケーブルのモジュラジャック/モジュラプラグの成端のスピード競技である。
- (2)準備時間【20分】、接続時間【30分】とする。
- (3)以下の接続図に従って、両端プラグ成端のパッチコード、両端ジャック成端のツイストペアケーブルを作成し、各々を接続する。



- (4)始端は、モジュラジャックの作成から始めること。また、終端は必ずジャックで終わること。
- (5)パッチコード、ツイストペアケーブルの長さは約0.3mとする。
- (6)結線はいずれもT568Aとする。
- (7)モジュラジャック、モジュラプラグ及びケーブル(U/UTP,Cat.5e)は指定されたものを持参すること。
- (8)準備については、別紙を参照のこと。
- (9)同一作業(外被除去など)を複数のケーブルにまとめて行うことを禁じる。
- (10)接続タイム開始時は、作業椅子に座って、いつでも作業開始ができる状態にしておくこと。
- (11)作業台、作業椅子、固定治具の使用は自由とする。
- (12)ラベリングは必要ない。ただし、開始点は必要である(準備時間に行ってよい。各自持ち込み)。
- (13)競技エリアの正面で作業をすること。
- (14)競技中にトラブル等が発生した場合は、挙手のうえ、競技委員に申し出ること。
- (15)上記以外の作業については、各競技者が工夫をして行ってよい。
- (16)IDCキャップの挿入に専用の治具を用いてはいけない。
- (17)かしめ工具は1個のみ使用を許可する。ジャケットストリッパは複数使用しても良い。
- (18)競技時間が終了した後に、以下のことを行うこと。
- (a)各自、配布された用紙(Table5)に作成し接続したリンク数と氏名を記入すること。
  - (b)作成したリンクは、配布されたBOXに入れること。
- (19)測定器の使用は自由とする。
- (20)作成したモジュラジャックの出来型が著しく悪い場合は、そのリンクを減じる。例えば、心線の切断長が著しく長い(2mm以上)場合などである。
- (21)終了後に、選手立会いのもと、競技委員が始端－終端のみ導通試験を行う。

## 課題5の採点ルール

以下のルールにより算出されたポイント数により絶対評価点と相対評価点の合計点を課題5の点数とする。

**基本ポイント:** 接続されたリンク数を目視により確認・算出し、1リンク=1ポイントとする。

- ①ワイヤマップ試験をリンク全体で行い、ワイヤマップエラーが生じた箇所は断線と判断し、その箇所を最終接続箇所としてリンク数を算出し、最終ポイントとする。
- ②①の断線箇所は、接続開始口から順に、各リンクを測定し判別する。
- ③リンク全体のワイヤマップが正常であった場合は、次に各リンクを順に測定する。各リンクとも正常であった場合には、基本ポイント=最終ポイントとする。
- ④成端箇所に、より戻しや外被異常などの不良箇所があった場合には、基本ポイントより1ポイント/箇所減じる。
- ⑤ルールの違反があった場合には、基本ポイントより5減じる。
- ⑥最後がプラグで終わっている場合は、そのプラグ接続は無効とする(直前のリンクまでをカウントする)。ただし、ボーナスポイントの配点の際に、この場合を0.5ポイントとする。
- ⑦接続ポイント数1位～2位の者には、絶対評価点に加えて相対評価点を与える。接続ポイント数1位の者は+1.5点、2位の者に+0.5点となる。同一ポイントの者が複数いた場合も、同じポイントを与える。その場合も、順位は飛ばないこととする。

例:

- ・15リンクとは、U/UTPの単線が16本、撚り線が15本を作成した場合である。
- ・20.5リンクの場合、つまり最後がプラグで終わっている場合は、20リンクとなる。
- ・絶対点は28リンクが上限であるが、相対点に上限はない。

## 配点表

10.0点	_____
8.0点	30ポイント
7.5点	29ポイント
7.0点	28ポイント
6.5点	27ポイント
6.0点	25ポイント
5.5点	23ポイント
4.0点	21ポイント
1.0点	10ポイント
0点	0ポイント

### 相対評価点

出場選手の中で、接続ポイントが上位3位の者に対して配点する(2.0、1.0、0.5)。ただし、相対評価点(のみ)は、0.5ポイント以内は同位とし、人数の上限は無しとする。

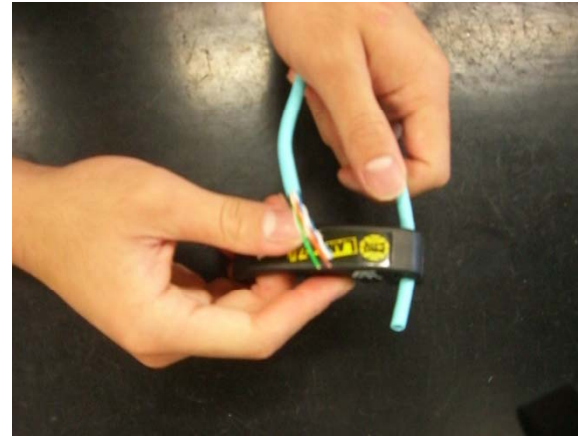
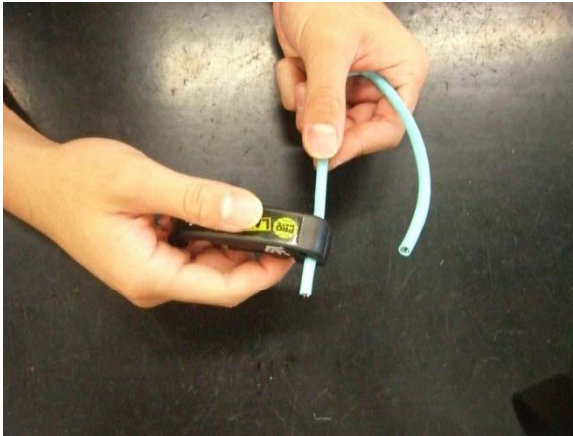
例： 29.0ポイントと29.5ポイントは同位。一方、28.5と29.0は同位ではなく、29.0が上位。また、1位が仮に二人いても、3番目の選手は2位扱い。

### 絶対評価点

接続ポイント数により配点する。

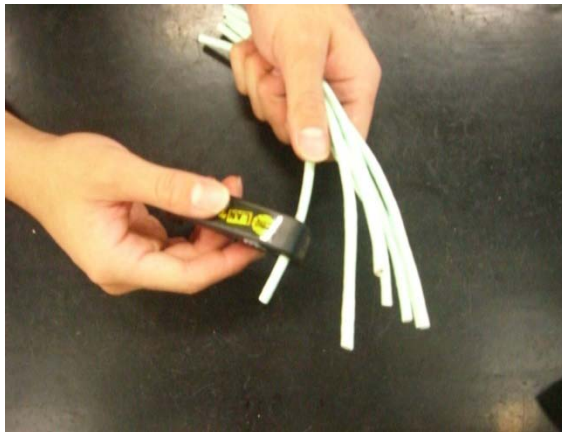
## 作業手順

①



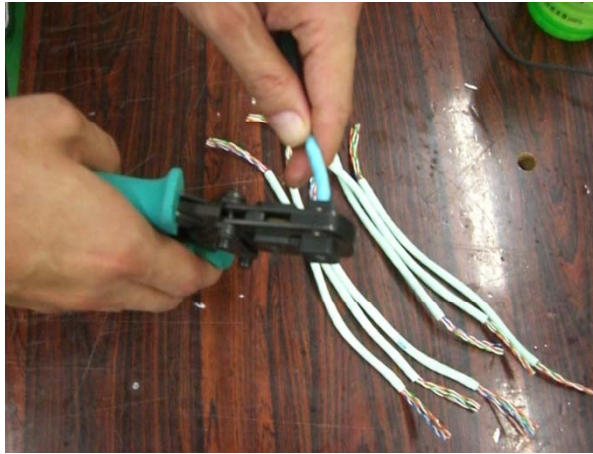
ケーブルを折り曲げ、片方の被覆を剥いて、次に他方の被覆を剥く→OK  
※このとき、ケーブルの曲げ半径は問わない。

②



同一作業を複数本まとめて行う→NG

③



複数本の被覆をまとめて向いてから、プラグをつける→NG  
※必ず、1本1本作ること。

④ジャックやプラグを交互につくらず、例えば初めにジャックをすべて作成、後からプラグを作成し、最後につなげていくことはOK.



## 事前準備

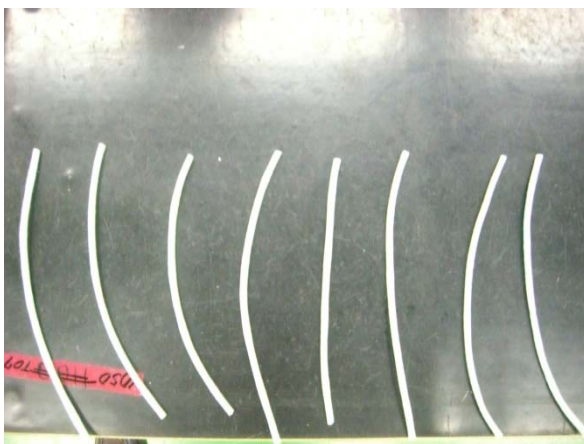
①



箱により分けて入れていくことはOK



ジャックのキャップをはずしておいてもOK



作業台の上であれば、ケーブルはまとめておいても、ばらばらにして取りやすい状態にしておいてもOK。**このとき、ケーブルは折り曲げずにおくこと。**

